第８期 第１０回 与謝野町産業振興会議 会議報告書

日　時　令和８年 10 月 14 日（水）午後７時 00 分～午後８時 35 分

場　所　岩滝保健センター２階　会議室１・２

出　席（敬称略）

小林　厚美	西原　新介	糸井　宏輔	岩西　拓男
足立　克徳	西村　彬弘	安達　幸三	谷口　祐一
太田　桂史	青木　一博	小山　大介（オンライン）	大槻　晃一
小田垣　凛	江種　里栄子		

欠　席（敬称略）

寺立　浩人	山添　宏明	福井　義之	宮﨑　真実

事務局

産業観光課　小室課長	同　田村補佐	同　井戸本補佐	同　妹尾係長
同　西原主査	商工会　佐々木支援員		

傍聴者　３人

会議概要

１．開会（小林会長）

令和７年７月の第８期与謝野町産業振興会議の発足から約１年４か月にわたり、３つのテーマについて議論を重ねてきた集大成として、与謝野町へ提出する提言書（案）の内容を確認する会議であることが共有された。

２．議事

（２）与謝野町地域経済分析調査の実施状況について**（議事進行の都合により、議事（２）を先に）**

道路事情のため、京都橘大学の小山委員がオンラインで参加し、調査の実施状況について説明した。また、事務局の求めに応じ、調査の全体像についても説明があった。

□調査の実施状況

- **消費動向調査：学生が世帯の消費動向についてヒアリングを行う。日程は、11 月 13 日～15 日、11 月 27 日～29 日、12 月 11 日～13 日の３回。あわせて、研究者による企業ヒアリングを並行して実施し、町内事業者へのヒアリングは日程調整のうえ随時行う。**

- **加悦鐵道開業 100 周年記念事業：個別プロジェクトとして、古い写真と現在の地図を照合した観光マップ等の作成を進める。学生による現地調査を 11 月 13 日、11 月 27 日の２回実施予定。**
- **事業者アンケート：商工会を通じ、町内全事業者を対象に 10 月 16 日を期限として実施中。10 月 13 日時点で 167 社から回答があり、回答率は約 20%（今後さらに上がる見込み）。業種・企業名は非公開で分析する。**

□事業者アンケートの暫定結果（10 月 13 日時点）

- **売上：前年同期（１～６月）と比べて「減少」が 42.8%。採算も「減少」が過半を占めた。**
- **景況感：業界・地域経済を取り巻く状況について、「やや悪い」「悪い」が多数を占め、今後の見通しも「良い」との回答はなく、「やや悪い」「悪い」が 70%弱であった。**
- **経営上の問題点（３つ選択）：仕入単価の上昇、人件費の増加、人手不足が多く、顧客・取引先の減少、民間需要の停滞、事業エリアの人口減少、税・社会保障負担の増加、同業者間の価格競争の激化も挙がった。**
- **今後の注力点：新規受注の確保、付加価値の増大、人材確保、賃金・給与の改善など、前向きな回答が多かった。**
- **IT 化・DX・AI の導入：「導入していない」が 41%、「導入を検討している」が 11.8%。活用内容は SNS での情報発信、会計ソフトや表計算ソフトの利用が上位で、生成 AI の活用は 17.5%、オンライン会議は 11.1%であった。生成 AI を「活用していない」は 41.6%で、検討中を含めると半数以上が業務で活用していない。**
- **取引先との連絡ツール：携帯電話、LINE、メールに加え、固定電話、FAX、書面郵送（19.1%）も使われており、アナログな連絡方法が今なお残っている。**
- **求める施策（５つ選択）：物価高対策が最多で、設備投資支援、移住・定住促進、人材確保、人件費・社会保険料の支援、借入・信用保証料の支援、IT 化・DX（16.7%）などが続いた。**
- **分析の方向性：短期的には物価高対策、社会保険料や設備投資の支援が必要であり、中長期的にはインターンシップ、定住促進、インバウンド、事業承継、地域内経済循環の促進、企業誘致など、長期的な視点の施策も必要との回答を得た。今後の個別企業ヒアリングに生かし、報告書にまとめる。**

□調査全体の概要

- **令和３年度調査では、企業ヒアリング（50 社）、消費動向調査（93 世帯）、従業員向け簡易版消費動向アンケートを実施し、既存統計の分析と合わせて地域経済分析報告書を作成した。**

- **今回は、これらを踏襲して実施するとともに、全事業者を対象とした悉皆調査である事業者アンケート（経営の課題、DX・AI の導入状況、産業振興の方向性など）を新たに実施している。このような調査を実施している自治体は全国でもほとんどない。**
- **報告書は年度末頃に完成する予定で、完成後に本会議で共有する。**

（１） 第８期与謝野町産業振興会議からの提言について

① 第３次与謝野町総合計画への反映について

事務局より、令和９年度から始まる第３次与謝野町総合計画（後期基本計画）への反映内容について説明した。

- **６月の会議で確認した「施策② まちの魅力を体験・体感できる交流拠点の拡充」の内容を企画財政課へ提出した。**
- **その後の庁内調整の中で、他の施策と文末の表現をそろえ、「目的」と「機能強化」の因果関係を明確にするため、文章の前後を入れ替えて整理した。調整後の案は「来訪者の滞在時間延長や地域消費の拡大に向け、官民が所有する交流拠点の機能強化・充実を支援します」で、目的（滞在時間の延長・消費の拡大）は変えていない。**
- **現在、第３次総合計画はパブリックコメントの実施期間中（10 月９日～11 月４日）であり、委員にも計画全体の確認を依頼した。**

※委員から特段の意見はなかった。

②「阿蘇ベイエリア活性化に向けた提言書」について

事務局より、本提言書は本年１月から６月にかけて延べ５回の議論を経てまとめたものであり、６月の会議での意見を反映した修正版の確認を９月に行い、修正の意見はなかったことから完成版として配付した。

また、本提言書の内容は次の③の提言書（案）にも盛り込んでおり、滞在・周遊のイメージなどを補足するため、別冊として提言書の資料に加えることを説明した。

※委員から特段の意見はなかった。

③ 第８期 与謝野町産業振興に関する提言書（案）の確認について

事務局より、提言書（案）の構成（提言に至った経緯、基本的な考え方、提言①～③、推進体制とスケジュール、むすび、資料）に沿って総括的に説明し、提言ごとに意見を伺った。

□提言① 金融支援制度の見直しに関する提言

- **事務局より、金利上昇局面への対応の役割分担にある金融機関の「商品開発への協力」について、町から「こうした融資制度があれば」という提案があれば、金融機関として検討することは可能であるかと確認し、可能であると返答を得た。**

□提言② 外国人労働者に係る支援制度の方向性

- **委員より、議論の中で外国人労働者に限定しない意見が多く、商工会のアンケートでも外国人雇用のニーズが少なかったことから、提言の題名を「外国人労働者等」とした方がよいとの意見があった。出席委員の賛同を得て、題名に「等」を加えることとした。**

□提言③ 阿蘇ベイエリアの活性化に関する提言

- **基本的な方向性の「観光地としての最重要拠点として」の表現について、委員より「天橋立・阿蘇海沿岸の象徴的拠点として」に改めてはどうかとの提案があり、他の委員も賛同したため、そのように修正することとした。**
- **総合計画後期基本計画の「観光入込客数」（基準値 33 万 2,000 人、令和８年度目標値 46 万人）について、委員より、クアハウスや道の駅など、町民が日常的に利用する施設の利用者も含まれており、純粋な観光客数とは言えない。実態に近い数字を示して危機感を持つべきであり、課題を正しく認識することが重要との意見があった。事務局より、この数値は海の京都 DMO への負担金の算定にも反映されていること、算定方法については京都府とも関係するため、現時点では回答できないが、産業観光課内で検討を進める旨回答した。**
- **ソフト面の整備（情報発信）について、委員より、SNS 等を活用した情報提供は既に行われていることであり、今後３年・５年先を見据えて、AI を活用した情報発信など、より先進的な内容を加えてはどうかとの意見があった。**
- **委員より、グループワークでは若者が集まる場としてカフェなどの意見があったことから、「期待される効果」などに、若者が参入できる、若者が盛り上げるといった内容を盛り込んではどうかとの意見があった。**
- **委員より、町には全国的に知名度の高い町出身の著名人がおり、町としても連携して展示・販売等も含めた取り組みを進めてはどうかとの意見があった。事務局は、情報発信やプロモーションの中で進めていきたいと応じた。**
- **事務局より、町長の指示により、今年度中に「観光グランドデザイン」を産業観光課で策定することが報告された。エリアごとの計画をつなぐ観光ルート、２次交通、周遊商品、一体的な情報発信により動線をわかりやすくし、阿蘇ベイエリアを入口として山の方へ人を導くものとして検討を進めており、提言書の内容も反映する。令和９年３月の会議で報告する予定。**

※いただいた意見をもとに事務局で提言書案を修正し、後日メールで委員に共有する。提言書

は、10 月末ごろに会長・副会長に最終確認のうえ、11 月 16 日に小林会長と西原副会長から町長へ提出する予定。

３．その他

□**今後の予定**

- **第８期の委員任期は令和９年３月末まで。**
- **次回の会議（第 11 回）は、第８期最後の会議となる。**

□**第 11 回産業振興会議**

- 日時：令和９年３月予定（日程は決まり次第案内する）
- 場所：岩滝保健センター２階　会議室１・２
- 議事：・与謝野町地域経済分析調査の結果報告について
  ・第９期与謝野町産業振興会議のテーマについて
  ・観光グランドデザインについて

４．閉会（西原副会長）

約１年４か月にわたる委員の貴重な意見に対する感謝が述べられた。いただいた意見を事務局で精査した提言書を、11 月に小林会長とともに町長へ提出することとし、この提言書が町の活性化・発展に寄与することへの期待を込めて会議を締めくくった。